

様式第2号の1－②

【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。

大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

学校名	茨城県立中央看護専門学校
設置者名	茨城県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
助産課程	助産学科	夜・通信	34 単位	3 単位	
看護専門課程	看護学科 3 年課程	夜・通信	77 単位	9 単位	
	看護学科 2 年課程	夜・通信	65 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<公表>

学校窓口で閲覧申し込み（閲覧時間：平日 9：00～17：00）

ホームページに公表：<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chuoukansan/>

<資料>

- ・「2025 年度助産学科授業科目の授業計画」及び「助産学科授業科目一覧」
- ・「2025 年度看護学科 3 年課程授業科目の授業計画」及び「看護学科 3 年課程授業科目一覧」
(1 年次：2025 年度入学生、2 年次：2024 年度入学生、3 年次：2023 年度入学生)
- ・「2024 年度看護学科 2 年課程授業科目の授業計画」及び「看護学科 2 年課程授業科目一覧」

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	－
(困難である理由)	

様式第2号の2-②

【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	茨城県立中央看護専門学校
設置者名	茨城県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	学校運営・教育活動に関する自己評価に対して、客観的立場から審議・評価を行う。 関係者委員会は本校の自己評価の結果に対して、その要因及び課題、改善方策等を審議する。審議結果は関係者委員会の意見として取りまとめる。 本校学校評価委員会は、関係者委員の意見を基に、課題改善に向けた対策を検討し、次年度の重点目標に繋げる。その対策をフィードバックできるように評価項目に反映させる。課題に対する一連の取組は次年度の関係者評価で報告するシステムである。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
臨地実習施設（病院） 教育担当者	1年間	主たる実習施設として長年実習を依頼している教育機関
臨地実習施設（地域施設） 教育担当者	1年間	在宅看護論実習施設として長年実習を依頼している教育機関
臨地実習施設（笠間市） 教育担当者	1年間	地域実習として長年実習を依頼している教育機関（地元の行政的立場からの意見）
国立大学教授	1年間	教育学に関する学識経験者
高等学校 管理職	1年間	本校の地元高校
同窓会長 （看護学科 3年課程）	1年間	卒業生代表
同窓会長 （看護学科 2年課程）	1年間	卒業生代表
同窓会長 （助産学科）	1年間	卒業生代表
（備考）		

様式第2号の3

【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	茨城県立中央看護専門学校
設置者名	茨城県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ＜授業計画書(シラバス)の作成過程＞ ・8月から翌年度の授業計画を立案するため、科目担当者が内容を検討する。 ・9月から11月の間で、科目担当者は教員会議に授業計画案(科目の目標・教育内容・方法・評価方法等)を提案し、全科目を見直し検討する。 ・12月はテキスト等の確認を行い、翌年2月末までに講師を決定する。 ・3月末までに授業計画書は完成する。 ＜授業計画書の作成・公表時期＞ ・作成期間は11月から2月下旬である。 ・公表時期は4月、入学生に授業計画書を配布し内容を説明している。	
授業計画書の 公表方法	＜公表＞ ・学校窓口で閲覧する場合は閲覧時間：平日9:00～17:00 ・ホームページに公表 https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chuuoukansen/ ＜資料＞ ・「2025年度助産学科 授業科目の授業計画」及び「助産学科授業科目一覧」 ・「2025年度看護学科3年課程 授業科目の授業計画」及び「看護学科3年課程 授業科目一覧」 (2023年度入学生・2024年度入学生・2025年度入学生) ・「2025年度看護学科2年課程 授業科目の授業計画」及び「看護学科2年課程 授業科目一覧」(2024年度入学生)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

＜単位の授与＞

- ・学則に「各授業科目を履修し、その試験に合格した者に単位を与える」と定めている。
- ・履修科目の学修成果は教育計画書(シラバス)に明示してある学習の到達目標、評価方法に基づき、科目担当者が総合的に評価している。
- ・授業評価は、筆記・口述・論文・レポート・実技等の方法により行う。
- ・評価基準及び単位認定の基準については、学則及び履修規程に定めている。
成績の評価はS・A・B・Cが合格、Dは不合格としている。

評定	評価基準	合否の別
S	90～100 点	合格
A	80～89 点	合格
B	70～79 点	合格
C	60～69 点	合格
D	59 点以下	不合格

- ・単位の授与は、科目担当教員による評価後に単位認定会議を開催し、単位の認定を決定している。
- ・単位の認定は、前期及び後期の各期末の年2回、行っている。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価の客観的指標として、G P Aを活用

- ・授業科目の点数を以下のとおりポイントに変換する。

評定	評価基準	ポイント (GP)	合否	備考
S	90～100 点	3.5～4.5	合格	
A	80～89 点	2.5～3.4	合格	
B	70～79 点	1.5～2.4	合格	
C	60～69 点	0.5～1.4	合格	再試単位取得者含む
D	59 点以下	0	不合格	GPA 計算対象外

＜G P Aの算出方法＞

$$\frac{(G P \times 1 \text{ 単位}) + (G P \times 2 \text{ 単位}) + (G P \times 3 \text{ 単位})}{\text{総履修単位数}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

公表 ホームページに掲載している。
<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chuuoukansan/>
 履修規程に定めている。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

<卒業の認定>

- ・学則に「学科の修業年限以上在籍し、出席すべき日数の3分の2以上の出席を認め、かつ、学科の授業時間を履修して規程の単位を修得した者について、あらかじめ卒業認定会議の承認を得たうえで卒業を認定する」各授業科目を履修し、その試験に合格した者に単位を与える」と定めている。
- ・卒業認定は会議規程に則り、学則に規定されている内容を審議し、決定している。卒業認定会議は原則年1回、学校長が召集する。

<卒業要件>

- ・学科の修業年限以上在籍し、出席すべき日数の3分の2以上の出席を認め、かつ、学科の授業時間を履修して規程の単位を修得した者
- ・助産学科の卒業要件となる単位数は、34単位
- ・3年課程の卒業要件となる単位数は、109単位
- ・2年課程の卒業要件となる単位数は、76単位

卒業の認定に関する 方針の公表方法	公表 学則に定めている。
----------------------	-----------------

様式第2号の4－②

【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	茨城県立中央看護専門学校
設置者名	茨城県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	—
収支計算書又は損益計算書	—
財産目録	—
事業報告書	—
監事による監査報告（書）	—

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
看護		助産課程	助産学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1050 時間／34 単位	510 時間 /22 単位	時間 /単位	540 時間 /12 単位	時間 /単位	時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25 人		19 人	0 人	5 人	46 人	53 人	

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
看護		看護専門課程	看護学科 3 年課程		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3010 時間／110 単位	1990 時間 /85 単位	時間 /単位	1020 時間 /25 単位	時間 /単位	時間 /単位	
			単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人		117 人	0 人	13 人	96 人	109 人		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
看護		看護専門課程	看護学科 2 年課程	○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2050 時間／76 単位	1330 時間 /60 単位	時間 /単位	720 時間 /16 単位	時間 /単位	時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		10 人	0 人	7 人	21 人	28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																				
（概要） <授業方法及び内容> ・アクティブラーニング型（書く・話す・プレゼンテーション）の授業を推進している。 ・学生の主体的・能動的な学習を支援している。 ・授業方法は、対面授業（DVD、パワーポイント）中心に効果的に授業が展開できる方法を選択している。看護学科 3 年課程は、電子テキストを使用している。 ・シラバスを基本に授業計画を立て、授業案を作成している。 ・演習・実習は指導ポイント等を教員会議で検討し共有化を図る。 ・シラバスの検討（授業形態、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価の方法等）は 9 月から 12 月頃までに行う。 <年間の授業計画> <u>*助産学科</u> 授業科目 34 単位（1050 時間）を教育進度に合わせて計画している。 <u>*3 年課程</u> ・授業科目 110 単位（3010 時間）を、1 年次は 45 単位（1115 時間）、2 年次は 37 単位（1020 時間）、3 年次は 27 単位（870 時間）を計画的に進めている。 <u>*2 年課程</u> ・授業時間 76 単位（2050 時間）を教育進度に合わせ、1 年次から 2 年次まで計画的に進めている。1 年次は、46 単位（1150 時間）、2 年次は、30 単位（900 時間）である。																				
成績評価の基準・方法																				
（概要） ・履修科目の学修成果を教育計画（シラバス）に明示してある学習の到達目標とその評価の方法に基づき、科目担当教員が総合的に評価している。 ・評価基準及び単位認定の基準については、学則及び履修規程に明示し、厳格かつ適正に行っている。																				
	<table> <tr> <th>評定</th><th>評価基準</th><th>可否の別</th></tr> <tr> <td>S</td><td>90～100 点</td><td>合格</td></tr> <tr> <td>A</td><td>80～89 点</td><td>合格</td></tr> <tr> <td>B</td><td>70～79 点</td><td>合格</td></tr> <tr> <td>C</td><td>60～69 点</td><td>合格</td></tr> <tr> <td>D</td><td>59 点以下</td><td>不合格</td></tr> </table>	評定	評価基準	可否の別	S	90～100 点	合格	A	80～89 点	合格	B	70～79 点	合格	C	60～69 点	合格	D	59 点以下	不合格	
評定	評価基準	可否の別																		
S	90～100 点	合格																		
A	80～89 点	合格																		
B	70～79 点	合格																		
C	60～69 点	合格																		
D	59 点以下	不合格																		

・単位の授与は、科目担当教員による評価後に単位認定会議を開催し、単位の認定を決定している。 ・単位の認定は、前期及び後期の各期末の年 2 回行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) <卒業認定基準> ・学則には、修業年限以上在籍し、かつ卒業要件に必要な単位数を取得した者について、卒業認定会議を行い、卒業の認定を行っているとしている。 ・助産学科の卒業要件単位数は 34 単位 ・3 年課程の卒業要件単位数は 110 単位 ・2 年課程の卒業要件単位数は 76 単位 <進級認定基準> ・単位の認定は、学則及び履修規程に明示し、厳格かつ適正に行っている。 進級は単位認定会議において決定される。
学修支援等
(概要) 各学年には担任を置き、学生に教育の年間計画を前期・後期に分け説明するとともに、学修支援の必要な学生を早期から関われるよう学生の生活・学習の側面を担当が他の教員と情報を共有し、学生の変化をキャッチできる支援体制を取っている。また家族の支援が必要な場合は保護者面談を行い、学校と家庭両面から支援体制を強化している。実習中の学生に関する情報は教員会議で共有し、担任と連携しながら学生を支援している。学生自身の自立を促すために、自身の年間目標を設定させ、達成できるよう全教員が支援体制を取っている。

○助産学科

卒業生数、進学学生数、就職学生数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学学生数	就職学生数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	0 人 (0%)	20 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 助産師として病院に就職			
(就職指導内容) 助産師として就業することを前提に各自の希望に合った施設を選択できるよう施設の案内や就職説明会等を実施し、学生個々に指導・面接等を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 助産師の国家資格の取得、受胎調節実施指導員の申請資格の取得			
(備考)（任意記載事項）			
中途退学の実況			
年度当初在学学生数	年度の途中における退学学生数	中退率	
20 人	0 人	0%	
(中途退学の実理由)			
(中退防止・中退者支援のための取組)			

○看護学科 3 年課程

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40 人 (100%)	4 人 (10%)	35 人 (87.5%)	1 人 (2.5%)
（主な就職、業界等） 看護師として病院に就職			
（就職指導内容） 看護師として就業することを前提に各自の希望に合った施設を選択できるよう施設の案内や就職説明会等を実施し、学生個々に指導・面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師の国家資格の取得			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
116 人	3 人		2.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更(看護職以外の進路を選択した)			
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生へのアンケート結果や授業への参加態度や出欠席の状態、心身の健康状態を確認し、気になる学生に対して面談を行い、早期に対応できるようにしている。 退学希望時は、現在の状況や今後の進路を客観的に考える時間として休学などを活用し、担任が定期的に連絡を取り支援している。			

○看護学科 2 年課程

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0%)	19 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 看護職として病院に就職			
（就職指導内容） 看護師としての就職を前提に各自の希望に沿った就職先に就職できるように、就職ガイダンスの実施や募集要項の提示、個別面談等を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師の国家資格修得			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
30 人	1 人		3.3%
（中途退学の主な理由）			
（中退防止・中退者支援のための取組）			

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
助産学科	5,650 円	178,800 円	1,073,200 円	教科書代、実習衣・カウ等、教材費、実習費、研修・国試、福利厚生費 等
3 年課程	5,650 円	178,800 円	788,174 円	教科書代、実習衣・実習費、教材費、研修・国試、福利厚生費等
2 年課程	5,650 円	178,800 円	531,615 円	教科書代、実習衣・実習費、教材費、研修・国試、福利厚生費 等
修学支援（任意記載事項）				
経済的理由等により授業料等（入学試験手数料、入学料及び授業料）の納付が困難であると認められる者に対する免除又は徴収猶予による修学支援を行っている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 公表、ホームページに掲載している。 https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chuuoukansan/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
＜実施方法・体制＞ ・学校の教育目標・計画に沿った取組の達成状況、学校運営に係る取組が適切に行われているかを自己評価し、問題となる事象の原因やその要因を分析し、課題改善に向けた継続的な取組を行うため、学内に学校評価委員会を置いている。 ・自己評価委員は学校長、副参事兼教頭、教頭、各学科教務主任、庶務主査、各学科教員の 10 名以内で構成している。 ・学校運営・教育活動に関する自己評価に対して、関係者評価者から客観的立場から審議・評価を頂く。評価委員は自己評価結果の要因及び課題、改善方策等を審議する。審議結果は関係者委員会の意見として取りまとめる。 ・関係者評価委員からの意見を基に、本校評価委員会で課題対策に向けた取組をまとめる。その課題が反映されるよう次年度の重点目標及び評価項目に設定する。 ・関係者評価委員は実習施設、教育機関、地域施設、卒業生、保護者等から構成している。 ・学校評価の結果はホームページ等に掲載し、広く公表している。		
学校関係者評価の委員		
所 属	任 期	種 別
臨地実習施設（病院）	1 年間	看護職（教育担当・副総看護師長）
臨地実習施設（地域施設）	1 年間	看護職（教育担当・管理者）
臨地実習施設（笠間市）	1 年間	看護職（保健師）
高等学校（笠間市）	1 年間	高校教諭（管理者）

国立大学（水戸市）	1 年間	教育職（教育学部教授）
同窓会（助産学科）	1 年間	同窓会長（卒業生）
同窓会（看護学科 3 年課程）	1 年間	同窓会長（卒業生）
同窓会（看護学科 2 年課程）	1 年間	同窓会長（卒業生）
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ＜公表＞ ・ ホームページに掲載している。 https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chuuoukansen/ ・ 「2024 年度茨城県立中央看護専門学校の学校関係者評価報告書」はホームページに掲載し公表している。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
実施していない。		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページに掲載している。 https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chuuoukansen/
--